



まとめと準備の3学期をむかえました

1月7日の始業式では、久しぶりに子どもたちの元気な姿に会えました。「冬休み楽しかった？」と聞くと同様にうなずきましたが、「2学期の終業式で話した三つの守ってほしいことを覚えていますか」という問いに対する反応は…(^;)。寒い体育館でしたが、たくさんのお話の間、しっかり顔が上がっていました。よいスタートが切れました。

さて、行事が盛りだくさんで長かった2学期に比べると、3学期は大きなイベントは卒業式、修了式のみです。ちなみに、各学期の授業日数は、1学期:73日 2学期:81日 3学期:55日。短期決戦の3学期です。

本日の式では、6人の代表児童(1年:加茂海風さん 2年:中島稟乃さん 3年:光永創太さん 4年:源祐生さん 5年:高村悠加さん 6年:佐藤朱理さん)による冬休みの思い出と3学期の決意の発表がありました。

三社参りや家族との旅行、親戚と遊んだこと、ショッピング等、様々な楽しかったことを話してくれました。また、3学期頑張りたいこととして、歯みがきやうがい手洗い等の生活面のこと、運動面のことがありましたが、多かったのは学習面。宿題やテストで花マル、百点をとる、その学年の漢字を全部覚える、都道府県を覚えるなど、具体的な目標があり、子どもたちの“本気”を感じました。

私からは、3学期を「まとめと準備の学期」として、目標やめあてを大切にして、毎日の自分の成長を振り返ること、学校に来た時と帰る時の自分の小さな成長を確かめてほしいという話をしたところです(左スライド)。「キーワードは、「毎日・成長・実感」。以前、この「くすのき」の第2号にも書きましたが、“実力はティッシュペーパーのようなもの”、小さな地道な積み重ねが力になっていくことを、この時期に学んでほしいと思います。子どもたちには、某キャラクターの「ポーっと生きてんじゃねーよ!」を参考に、「毎日を何となく過ごしたり、ぼーっとしていたらもったいない」と伝えました。80人の子どもたちの日々の成長を丁寧に見取っていきたいと思います。

どうぞ、3学期もよろしくご理解とご協力をお願いいたします。最後になりましたが、学校あてに子どもたちから心のこもった年賀状をいただきました。職員一同嬉しく拝見しました。ありがとうございました。

2 3学期にがんばってほしいこと

PRESENTATION

- ○○ができるようになった
- □□がわかるようになった
- お友だちとなかよくできた
- きょうよりたくさん発表(はっぴょう)できた
- そうじがじょうずにできた

毎日の小さな成長(せいちょう)

ふりかえって たしかめよう

気持ちを新たに・・・

始業式後は、提出物の確認等々で慌ただしく動きます。普通授業もありました。早速目標等を書いている学年もありました。2年生は、係のお仕事について、あれこれと紙にまとめていました。何とも微笑ましい光景で…(^o^)
この決意で、ばりばり仕事してくれるんだろうなと大いに期待しています。



さて、冬休みの宿題の提出状況について各担任に尋ねてみたら、全体で71人が提出したとのこと。一人お休みでしたので提出率は約90%。2学期よりも、よくなった!とのことでした。

1、2年生は、100%!だったそうです。我が子育ての経験から、低学年の宿題については、おうちの方の声かけや励ましという働きかけもこの100%に大きく貢献したのではと察しております。

家庭学習は学習内容の定着と自主性を育てる大切な活動です。よろしくご協力をお願いします。

